

「70歳まで働ける企業」

推進プロジェクト地域普及・啓発事業

趣旨：少子高齢化が急速に進展する中、経済社会の活力を維持していくためには高年齢者が意欲と能力のある限り、年齢にかかわらず社会の支え手として活躍し続けることができるよう、その意欲と能力に応じた雇用機会の確保を図っていくことが急務となっています。

また、高年齢者については、60歳代後半層においても高い就業意欲がみられるとともに、平成24年には、いわゆる「団塊の世代」が65歳に到達し、60歳代後半における就業ニーズの一層の高まりが見込まれること等を踏まえ、意欲と能力があれば「70歳まで働ける」雇用機会の確保に向けた環境整備を進めていく必要があります。

このため、沖縄雇用開発協会では沖縄労働局からの委託を受け、「70歳まで働ける企業」の普及・啓発事業に取り組むこととしています。

事業内容

1. シンポジウムの開催

◎10月の「沖縄県障害者・高年齢者雇用支援のつどい」との併催。「70歳まで働ける企業」の普及・啓発をはかるため、高齢者雇用問題に造詣の深い講師を招聘し「記念講演」を実施する。



2. セミナーの開催

◎企業の雇用管理者、雇用推進者等を対象に開催している研修・講習のなかで、2回については「70歳まで働ける企業」の普及・啓発セミナーとして、当協会委嘱の70歳雇用支援アドバイザーによるセミナーを実施する。



3. 啓発・広報

◎「70歳まで働ける企業」推進プロジェクト事業について、公共交通機関、経済団体広報誌等を活用し広報する。

4. 70歳雇用支援アドバイザーによる相談・助言

◎65歳までの高年齢者雇用確保措置を導入している企業を中心に、企業診断システム、企画立案、職場活性化研修を活用しながら、70歳まで働ける企業の実現に向けた取組について、相談・助言を実施する。